

PTA「高等学校視察」報告 No.3

令和7年7月16日 活動推進部進路グループ

今年度、3校目の視察として、愛西工科高校を訪問しました。

愛知県立愛西工科高等学校（専門学科 Bグループ）

校訓「活（いかす）物をいかし、人をいかし、己をいかす」のもと、社会や時代の変化に主体的に対応し、技術を通して社会の発展に寄与できる人材の育成を目指しています。【ロボット工学科】【機械科】【電子工学科】【建築デザイン科】の4学科において実習を多く取り入れた専門的な学習が展開されています。

【ロ・機・電】の3学科においては、1年次は基礎知識を学び、2年次よりコース制が導入され、「エンジニア（就職）コース」と「アカデミック（進学）コース」に分かれて専門的な知識・技術・技能の習得を目指します。【建築デザイン科】は、県立学校で唯一、3年間一貫して建築の専門分野を学べます。

◆【ロボット工学科】

ロボット工学科では既存の産業用ロボットの制御に必要な、プログラミングする技術・技能を身につける学習をします。将来的にロボットシステム・インテグレーター（ロボットを使用した機械システムの導入提案や設計、組立などを行う技術者）の育成を目指しています。

◆【機械科】

機械科では製品の設計・加工等の基本的な知識と技術を学べる学科です。実習では溶接、旋盤、フライス盤、ボール盤等の工作機械から技能を身に付け、最新のコンピュータ制御されたNC工作機械や3Dプリンタ等の技術を学んでいます。

◆【電子工学科】

電子工学科では、電気の発生から送・配電までの基礎的な理論や、電気を利用する電気・電子・情報・通信の基礎技術・技能を学び、暮らしを支える電気産業のスペシャリストを目指しています。

◆【建築デザイン科】

建築デザイン科では建築の基礎について学び、建築物を設計するためのデザイン・計画・製図の知識や建築物をつくるための技術・技能を「さまざまな実習」を通して学び、建築の分野で幅広く活躍できる「人財」の育成を目指しています。

◆全体を通して

- ・ 実習は、3時間通しで10人程度の班で行われます。また、各班に1～2人の指導教員がついており、安全面や技術指導の体制が充実しています。
- ・ 多くの卒業生が社会で活躍しており、求人数が多く、就職希望者の内定率は100%です。専門性を活かして大学や専門学校への進学も可能です。



参加者の声

- ・ 校長先生はじめ、みなさんとてもフレンドリーで話やすく、生徒さんも礼儀正しく生き生きとした感じで、とても気持ちよく拝見させていただきました。
- ・ 多くの資格が取れ、就職率も高く、とてもすごいと思いました。
- ・ 学習面でも実習面でも、少人数で指導されていてとても安心しました。
- ・ 社会に出ても困らないよう、コミュニケーション能力、しつけなど基本的なこともしっかり学ばせていただけることは大切なことだと思いました。